

東村町まちづくり推進委員会

委員長 伊藤 武彦

（問合せ先） 084-936-0600（東村交流館）

## 事業内容

- (1) 町民運動会（10月26日）
- (2) 公衆衛生活動事業（路上散乱ごみ回収作業：6月8日、8月31日、12月14日、3月22日  
幟旗更新設置作業：3月22日）
- (3) 青少年育成事業（教育講演会：11月20日  
春待ちコンサート：2月3日  
モルック大会：2月23日）
- (4) かかしの里夏祭り（8月2日）
- (5) かかし祭り（12月7日）
- (6) 自主防災活動事業（11月23日）
- (7) 有害鳥獣対策事業（1月～3月）
- (8) 環境美化・整備事業（かかしの里花壇：5月31日、11月3日  
あんずの丘：12月20日）
- (9) 世代間交流事業（田植え体験：6月11日・かかし作り：9月11日・稲刈り体験：10月6日  
芋ほり体験：11月11日）
- (10) 人権啓発事業（映画上映会＝住民学習会：6月15日）
- (11) 広報紙発行事業（町内通信発行：6月、10月、2月）
- (12) ふれあい広場（9月5日、9月18日、2月18日、3月10日）
- (13) 運営事業（通年）



かかしの里夏祭り



モルック大会

## 成果

多くの事業で、こどもから高齢者まで幅広い世代の参加を得ることができ、地域住民のふれあいの場、繋がりを生む機会となった。

## 課題

反面、事業が固定化し、参加者の顔ぶれも同じように感じる。これまで地域活動にあまり関心を寄せられなかった人へ、どうアプローチしていくか、研究が必要。

また、役員委員の固定化、高齢化はますます進み、事業内容、継続の方法・有無を議論する時期が迫っている。

人権啓発事業

## 課題解決にむけて

参加者層の拡充や増員、また担い手不足解消にむけて、事業内容の見直しを検討。またスマホ活用による情報発信など、広報について研究していきたい。



# 広報紙発行事業

地域内のできごとを  
記録する役割も！



「東村町内通信」は、現在154号まで発行してきました。  
 現存する最古のものは、「第11号東村町内会通信」(昭和55年5月発行)です。  
 内容は、町内の話題を記載したB4版で、記事を手書きし印刷したものです。  
 その後タイプライターやワープロも使用され、表記が「町内通信」となり、町内から選出された編集委員で編集したり、公民館主事が作成していたこともありました。  
 2001年の第75号からは、自治会連合会に広報委員会が設置され現在に至っています。パソコンで紙面を作るようになってからは、写真をデータで取り込むことができ見やすくなりました。また、地域まちづくり推進事業の補助金を活用するようになってからはカラーの紙面を増やすことで、より鮮やかな紙面で町民の皆さんに情報を伝えることができるようになり、保存・伝承もしやすくなりました。  
 今後も地域の情報を広くお知らせし、かつ未来へ残していけるよう、読みやすくわかりやすい紙面づくりとSNSによる情報発信を進めていきたいと思っています。



第152号  
(6月発行)



第154号  
(2月発行)

第153号  
(10月発行)

